

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和4(2022)年度第3回みよし市行政評価委員会		
開催日時	令和4(2022)年10月17日(月) 午前10時27分から午前11時17分まで		
開催場所	みよし市役所6階 601、602会議室		
出席者	(会長) 村松幸廣 (副会長) 望月恒男 (委員) 伊豆原和子、小野田恵一、鈴木文生、伊藤武 ※敬称略 (事務局) 清水政策推進部長、伊藤政策推進部参事、 海堀政策推進部次長兼企画政策課長、木戸副主幹、加藤副主幹、 岡田主事		
次回開催予定日			
問合せ先	政策推進部企画政策課 担当 岡田 電話番号 0561-32-8005 ファックス番号 0561-76-5021 メールアドレス kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録全文 ・議事録要約 	要約した理由	
典 礼 海堀次長	定刻前ですが、傍聴者はおりませんので、ただいまから、令和4年度第3回みよし市行政評価委員会を開催させていただきます。 はじめに、礼の交換をさせていただきます。恐れ入りますが御起立をお願いします。 一同礼。御着席ください。 私は本日の典礼を務めさせていただく、政策推進部次長の海堀です。よろしくお願ひいたします。 委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しい中、御出席をいただきまして誠にありがとうございます。 それでは、会議に先立ちまして、村松会長より御挨拶をいただきます。		
村松会長	皆さま、おはようございます。 本日はお足元の悪い中お集まりいただき、ありがとうございます。 行政評価というのは、みよし市の今後の在り方をどう考えるかということの材料になると思います。今、外国の方々がインバウンドで来られて、景気が多少は良くなっていますが、経済が収縮している中で行政評価というのは非常に重要となります。本日は委員の方々に忌憚のない御意見をいただければと思います。 以上、挨拶に代えさせていただきます。		
典 礼	ありがとうございました。 本日の議題は2点ございます。		

海堀次長	<p>1つは外部評価シートの評価結果のとりまとめでございます。これにつきましては、評価シートの提出について御協力いただきましてありがとうございました。</p> <p>もう1つが、その評価結果を踏まえた行政評価報告書の作成についての以上2点でございますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>議題に入る前に、事務局より本日の流れを説明させていただきます。</p>
事務局	<p>1つ目の議題についてですが、8月23日の第2回行政評価委員会で実施した外部評価対象事務事業ヒアリング後、委員の皆さまに御提出いただいた外部評価シートを基に、資料1の「外部評価シート一覧表」を作成させていただきました。本日は、事業ごとの「今後の事業の方向性」について、決定していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>2つ目の議題についてですが、資料2のとおり「行政評価報告書(案)」を作成しましたので、記載内容等について御意見を伺いたいと考えております。</p> <p>今回、委員の皆さまからいただいた意見の中で、質問事項がありましたので、参考資料を配付させていただいております。簡単に説明させていただきます。</p> <p>質問が2つありまして、1つ目は、商工業活性化補助事業についてです。商工業活性化補助事業の補助率について、本市は50%であるが、近隣市町村も同様の補助率であるかという質問でした。参考資料1に、近隣市町の補助内容が同様のものをまとめましたので、御確認ください。各市町で状況等は違うため、単純に比較はできませんが、概ね2分の1の補助率でした。</p> <p>2つ目の質問はふるさと納税返礼品PR推進事業についてです。ポータルサイトの利用実績が多いと、寄付金も多くなるのかという質問でした。参考資料2に近隣市町の寄付金額実績と利用しているポータルサイト数をまとめましたので、御確認下さい。ポータルサイト数と寄付金額は必ずしも比例するというものではありませんでした。</p> <p>説明は以上です。</p>
典 礼 海堀次長	<p>それでは議事に入らせていただきます。村松会長の議事進行でよろしくお願いいたします。</p>
村松会長	<p>それでは、議事に入りたいと思います。</p> <p>今日の議題であります「外部評価シート評価結果のとりまとめ」について、委員の皆さんに一言ずつ、どのように評価を行ったかということをおっしゃっていただきたいと思っております。それから質問があればお受けしますので、挙手をお願いします。</p> <p>それでは、児童発達支援事業の今後の方向性について、どのような評価をしたのか意見をいただきたいと思っております。副会長の望月委員からお願いします。</p>
望月副会長	<p>よつば、ふたば、保健センターの3施設の所在地がバラバラであるということで、効率化を目指すために同一場所に集約してサービスを提供するという計画があるとのことでしたが、このことについては私も大賛成です。</p> <p>一方で、よつばの定員をオーバーしたニーズがあるということで、行政として対応していかなければいけないことだと思います。そのため方向性を拡大とさせていただきます。</p>
村松会長	<p>それでは、時計回りでいきたいと思っております。</p> <p>伊豆原委員をお願いします。</p>

伊豆原委員	<p>私はあまり理解できていなかったのですが、自分の感じたことを書かせていただきました。</p> <p>児童発達支援事業についてですが、おやつ代等も含めて全てを公費で払っているのかなと思い、意見を記載させていただきました。支援が必要な子に合同施設を建設したいということでしたので、その点はいいと思いました。事業の方向性は、継続して実施とさせていただきます。</p>
鈴木委員	<p>皆さんと記載している意見の内容はほとんど同じですが、事業の方向性の改善というのは、拡大という意味で改善と書いたつもりですので、拡大と解釈していただいて結構です。</p>
伊藤委員	<p>提案されたよつば、ふたば、保健センターを1か所に拠点化するという取組は非常に評価できると思います。総合評価をあえて改善といたしました。1か所に拠点を集めるということで改善と捉えました。拡大という見方と迷いましたが、あえて改善としました。</p> <p>それから、書いてございますように、1か所に拠点化した後においては、通所者送迎運行は継続して取り組んでほしいと思います。</p>
小野田委員	<p>市町が対応すべき事業であるということで、3施設合わせた施設を建設して対応すべきではないかと思います。</p>
村松会長	<p>全国的にみても、児童発達支援の対象者が増加するという傾向があります。本市においても、増加を前提として対策を考慮することが必要ではないかと思えます。施設の統合も、加速度的に充実していかないといけないと思えます。</p> <p>ソーシャルワークの充実による家庭総合支援の拠点としてのセンター化構想も早期実践していくという方向性で検討する必要があるのではないかとということで、事業の方向性を拡大としました。</p> <p>以上それぞれの委員の皆さまから御意見賜りましたけれども、拡大が3名、継続して実施が1名、それから改善が2名ということで、改善の場合も拡大ということのニュアンスもあるということでございますので、とりまとめとしましては、拡大という方向でよろしいでしょうか。</p> <p>【委員異議なし】</p> <p>それでは拡大で決定したいと思います。 次に敬老金支給事業についてお願いします。</p>
望月副会長	<p>敬老金支給事業は次の長寿お祝い事業とセットで考えなければいけないところです。</p> <p>まずこの敬老金支給事業に関してですが、大前提の考え方として、行政が長年にわたって社会の発展に貢献した高齢者に感謝の意・敬意を表する事業というのは、私は当然やって然るべき事業だと思っております。</p> <p>そうした前提条件がある上で評価をしたわけですが、この事業に関しては、支給対象年齢の見直しをすべきではないかということと、長寿お祝い事業との統合をすることによって、事業の簡素化・効率化が図られるということで、評価としては改善としています。この改善は縮小方向の改善という意味合いになるか少し分からないですが、長寿お祝い事業との統合ということも踏まえて、改善という評価にしました。</p>
伊豆原委員	<p>一応縮小という方向性にしました。支給年齢も80歳、90歳、100歳以上とすることで、事務も簡素化できると思います。現金を振込で送金するという話もありましたが、現金ではなく、商品券のようなものでも少しありがたみがあるかなと感じました。</p>

	<p>評価としては、縮小していくということです。</p>
鈴木委員	<p>やはり大きな金額でなくても敬老金をもらうということは、お年寄りの方にとって、歳をとっていくといいことがあるなという実感がもてると思うので、敬老金支給事業としては継続して実施して欲しいという意味で、評価を継続して実施としてあります。しかし、事業の中身については、支給対象の年齢をもう少し上げてもいいのかなと思います。</p> <p>名古屋市の人は70歳になると、バス乗り放題となっています。最近は100回、50回という制限がありますが、名古屋市のように車が運転できなくなった方でもみよしのバスを使ってもらいたいという意味で、敬老金支給対象の年齢を上げる代わりに、バスの乗り放題券を考えてもらいたいと思って意見を書きました。実際このような事業は実施していませんよね。そのため、参考として意見を書かせていただきました。</p> <p>評価は継続ですが、その中には、一部改善も含めるという意味がございます。</p>
伊藤委員	<p>長寿お祝い事業との統合を前提として、敬老金の対象者を縮小するというのですが、この機会に70歳の人も敬老金の対象者にしてみてはどうかと思って意見を書かせていただきました。一応、評価としては改善としました。</p>
小野田委員	<p>前回も言いましたが、民生委員さんが訪問して渡すことに意味があったと思いますが、敬老金を現金振込で行うのであれば、縮小でいいと思います。</p> <p>たまたま昨年80歳になった人と話す機会があり、80歳の方は5,000円支給されているはずですよと尋ねたところ、そのような文書はもらってなくて、金融機関も確認していないから、支給されているかどうか分からないと言っていました。対象者が支給されているかどうか分からない事業については、縮小すべきではないかと思います。</p>
村松会長	<p>敬老精神を表すという意味でも、必要な事業であるとは思いますが、改善が必要であるという評価をさせていただきました。改善することで、ある程度予算の抑制も可能になってくると思います。</p> <p>以上それぞれの委員の皆さんの御意見を賜りましたけれども、改善が3名、縮小が2名、改善の含みはあるけれども、継続して実施するが1名ということで、全体として改善という意見が多数ありましたので、改善という方向にしたいと思いますが、何か御意見ございますか。</p>
望月副会長	<p>先ほど言い忘れてしまったことですが、他の委員さんからも指摘がありましたが、外部評価シートに記載されているように、現在敬老金は振込ということで、致し方ないことだとは思いますが、本来はやはり手渡しで受け渡しを行うというのが、あるべき姿ではないのかと考えております。</p>
村松会長	<p>コロナの中でなかなか面接できないということもあると思いますが、本来であれば、個々にお渡しするということを考えなければならないかと思います。この意見も行政評価のほうに記載させていただきたいと思います。</p> <p>何か他に御意見ありますでしょうか。</p> <p>【意見なし】</p> <p>それでは、敬老金支給事業の方向性は改善に決定したいと思います。</p> <p>次に長寿お祝い事業、この事業は2つ目の敬老金支給事業と関わり合いがありますけれども、この事業についても、委員の皆さんから御意見をいただきたいと思っています。</p>

望月副会長	先ほどの事業のところでも申したとおり、この事業は、先ほどの敬老金支給事業との統合が可能であって、なおかつ長寿お祝い事業に関しては、それほど利用率が高くなかったという実態があります。そのため、この事業を廃止して、先ほどの敬老金支給事業に統合するという意味で、廃止・休止を検討すべきと評価しました。
伊豆原委員	私は、敬老金支給事業があるので、長寿お祝い事業は廃止でいいのではないかと思います。できたら、敬老金支給事業のほうを充実していけばいいのではないかと思います。
鈴木委員	長寿お祝い会を非常に楽しみにしている方もいらっしゃるようですが、これから高齢者人口も増加しますし、人によって行けたり、行けなかったりということがあってはいけないと思います。コロナ禍で2年間実施していなくても大きな声が聞かれたわけではないので、思い切って廃止にしても理解は得られるということで、廃止と評価しました。
伊藤委員	地元の老人クラブが観劇会の参加にあたり、かなり苦勞しているというのは耳にしております。それに、対象者が絞りこみにくいという状況があるとのことでしたので、これを機に廃止でいいと思いました。
小野田委員	2年間実施がなくても、特に市民からは問い合わせもなかったということですし、今年も2講演ありましたが、参加者は1,600人程度で満席にならなかったようですので、廃止してもいいと思います。
村松会長	それぞれ委員の皆さんの御意見をいただき、廃止・休止を検討ということで一致しておりますので、廃止・休止という評価で決定させていただきます。 次に商工業活性化補助事業について、それぞれ御意見をいただきたいと思えます。
望月副会長	この事業に関しては、ヒアリング時にも、近年の利用に関しては、感染症対策環境整備事業の補助金がほとんどだということを伺っておりました。コロナ禍がまだまだ終息の見込みが全く掴めない状況ですので、申請件数が増加しているということで、必要な事業だと判断しました。そのため、継続して実施すべきだと思っております。 公平性のところで1人だけ受益者がいないとしていましたが、マークミスですので、適正であるということで訂正いたします。
伊豆原委員	あまり分らなかったのですが、商工業活性化補助事業ということですので、達成していい結果がでることを期待して、継続して実施と評価しました。
鈴木委員	他の市町は補助率が50%かという質問の回答ありがとうございます。 商工業活性化補助事業は当然必要な事業と思います。ただ、これまでコロナ対策で80%使われているので、今後は本来の商工業の発展への支援事業ということで、開業や設備投資といったものに補助金が回るようになると、大変いいかなと期待をしております。
伊藤委員	商工業を支える事業として、ぜひ継続すべきであると思います。
小野田委員	おそらくこの補助金があるので事業者はいろいろなことをされていると思います。 商工業の活性化のためには、やはり継続して実施すべき事業かなと思います。

<p>村松会長</p>	<p>私の意見ですが、継続して実施ということでございます。 御存知のように、みよし市は、商工業に依存度が高いので、活性化を行政側から行っていくということが必要です。継続をして実施し、見直し等をしながら、適切な伸びを考えて実施していただきたいと思います。それから、スタートアップ事業等々は、積極的にある程度受け入れながら実施していただきたいです。作業構造上なかなか難しい点もあるかもしれませんが、地方におきましても、スタートアップ事業を起こすことができますので、何らかの形でそういう枠組みを作って、そこに予算を投下していくということが将来的に必要なではないかなと思います。</p> <p>商工業活性化補助事業につきましては継続して実施という委員の皆さんの意見が一致しております。それぞれ御意見がありますので、その御意見も付して、継続して実施ということで、評価の結論にしたいと思います。</p> <p>何か他に御意見ございますか。</p> <p>【意見なし】</p> <p>それでは、最後のふるさと納税PR推進事業をお願いします。</p>
<p>望月副会長</p>	<p>ふるさと納税返礼品PR推進事業ですが、ふるさと納税の返礼品の贈呈を通じて郷土愛の醸成や地域振興に資する事業であり、みよし市の魅力を外部に向かってPRするために、またとない機会だと思いますので、ぜひとも積極的に推進していただきたいです。特に返礼品の充実に努めていただきたいということで、評価を拡大としていますが、活動を拡大していただきたいという意味合いとなりますので、予算が伴う意味での拡大ということであれば、評価自体は皆さんと同じ継続して実施ということになります。</p>
<p>伊豆原委員</p>	<p>私は、ふるさと納税返礼品は続けてやってほしいと思いますし、拡充して多くの人にPRしてほしいです。継続して実施してほしいです。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>継続して、しっかりやっていただきたいと思います。 参考資料でいただいた中で、東郷町のふるさと納税の寄付金額の実績が1億5,400万円ということで、みよし市よりも大分多いですが、東郷町も特産品等があまりないと思いますが、なぜこんなに実績があるのでしょうか。</p>
<p>海堀次長</p>	<p>東名三好のインターの南に位置するコムテックという会社が、車のレーダーやドライブレコーダーの販売をしております、そちらの返礼品の実績が大きいという話を聞いております。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>みよし市もまた努力していただきたいと思います。 継続して実施をお願いします。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>非常にいい取組であると思いますが、とにかく返礼品の拡大に尽きるのではないかと思います。ただし、非常に難しいのではないかと思います。先ほど東郷町の話もありましたが、いかに返礼品を拡大するかというのは、商工業の振興が大事ではないかと感じています。 継続して実施と評価します。</p>
<p>小野田委員</p>	<p>返礼品を拡充していく、それに尽きると思います。継続して実施です。</p>
<p>村松会長</p>	<p>私も継続して実施ということであります。 みよしの市民が他都市にふるさと納税している金額の方が多いということですが、やはり少し問題があるのではないかは思います。 いかにふるさと納税をしてもらう人呼び寄せるかということが必要となって</p>

	<p>きます。SNS等も駆使していくことが必要になるのではないかと思います。また、他都市との協定によってある程度返礼品を増やしていくということが必要です。姉妹都市提携している場合、その都市と協力していくということも必要になります。</p> <p>みよし市は評価の高い農産品がありますので、例えば、農産物を材料にしたレシピを応募いただき、コンテストを実施し、ユニークなスイーツを提案した人に商品を渡すというようなPR等を行って、ふるさと納税を増やしていくということも、積極的にやっていかなくてはいけないと思います。多少効果があればそこに予算を付加していくといいと思います。</p> <p>私の評価は継続して実施とありますけれども、場合によっては、そういった施策としてとり上げて、予算を増加していくということも含みとして、評価いたしました。</p> <p>全体としまして、望月副会長が言うように継続しつつも、拡大をする必要がある場合は、拡大をするということも視野に入れるべきではありますが、継続して実施するというので、まとめをさせていただきたいです。</p> <p>何か御意見ございますか。</p> <p>【意見なし】</p> <p>全ての事業につきまして、評価が終了いたしましたので、事務局からとりまとめと全体の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは評価内容を確認させていただきます。</p> <p>1つ目の児童発達支援事業が拡大、2つ目の敬老金支給事業が改善、3つ目の長寿お祝い事業が廃止、4つ目の商工業活性化補助事業が継続して実施、5つ目のふるさと納税返礼品PR推進事業が継続して実施という方向性でよろしいでしょうか。</p>
村松会長	<p>はい。</p> <p>全体で何か質問、あるいは提案でもいいですので、何かありますでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>ふるさと納税返礼品PR推進事業についてですが、1つの課だけではなかなかいい案が浮かばないということもあると思うので、組織を庁舎の中に作って、農業、工業、商業の知恵を出し合って実施したらいいと思います。</p> <p>それから、先ほど東郷町のコムテックの件もありますが、たくさん収入を得ている団体に話を聞き、見に行ったりして、どうしてたくさん寄付があるのかを研究をしていただき、少しでもふるさと納税の実績を上げてもらいたいです。</p>
村松会長	<p>市民の方々に意見をいただくということも行っていると思います。あるいは大学生に聞いてみたりすると、ユニークな意見を出してくれたりもします。そういったこともやっていったらいいのかなと思います。</p> <p>なかなか他市の真似をするのは難しいかもしれませんが、なにかヒントがつかめるかもしれません。</p>
小野田委員	<p>みよし市はふるさと納税返礼品について、スタートですごく遅れました。たぶん税金があるからふるさと納税に期待しないという職員がたくさんいたと思います。スタートが悪かったから伸び悩んでいるという部分があります。そのため、本腰を入れて、職員全体で対応しないと実績は伸びないと思います。</p>
村松会長	<p>みよし市は財源が潤沢ではありますが、経済はこれから絶対的に落ちてきます。固定資産税は、なかなか税金が伸びていかないと思います。人口の伸びも少し鈍化してきていますので、やはり税金を増やすというのはなかなか難しいかもしれません。そうすると、ふるさと納税等々で広報活動も行い、スタートが遅れたと</p>

	<p>小野田委員から指摘がありました。それは理由にならないので、頑張っていただけだと思います。</p> <p>何か他にありますか。</p>
望月副会長	<p>やはりふるさと納税の話になってしまいますが、先ほど鈴木委員が言ったように、いわゆる組織横断的な部署を作って、いろいろな知恵を集めて、返礼品の増加、魅力ある返礼品をそろえることに努力するというのは、非常に良い考え方だと思います。ですから、常設の部署というわけにはすぐにはいかないかもしれませんが、プロジェクトチームとして、市役所内から志望を募って、1回やってみたらいかがでしょうか。</p>
村松会長	<p>それぞれ御意見をいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>事務局にお返ししますので、お知らせ等お願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>議題1の方向性は、先ほど説明したようにさせていただきます。</p> <p>次の議題2の行政評価の報告書の件ですが、今回資料2としてお渡しさせていただきました、「行政評価報告書」を御覧ください。</p> <p>こちら1ページ目を開いていただきますと、1ページ目にまず「経済状況」、「本市の財政状況」を記載しております。後半の方で、「行政評価の重要性」、「外部評価の成り立ち」について記載しております。</p> <p>2ページ以降は、行政評価の概要についての説明を記載しています。3ページ目には、評価の進め方と評価の基準等を掲載しております。</p> <p>4ページ目以降ですが、今回実施していただきました、外部評価について掲載をさせていただいております。一番下の評価結果のところを見ていただきますと、現在空欄となっておりますが、事業の方向性を先ほど議題1の方で決めていただきましたので、そちらを事業の方向性として記載させていただきます。</p> <p>行政評価委員会の意見の欄も、本日の委員の皆様方の意見を踏まえて、事務局の方で作成させていただき、また皆様に郵送でお渡しさせていただいて、確認をしていただくということにさせていただきますので、お願いいたします。</p>
村松会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員の皆さんに御意見をいただきましたので、行政評価委員会の意見とさせていただきますたいとのことでしたが、いろいろな提案がありますので、その提案を含めて、ぜひまとめていただきたいと思います。</p> <p>委員の皆さんに最終的な案をお示ししますので、何か御意見ありましたら、事務局にお伝えいただければと思います。</p> <p>それでは事務局にお返しします。</p>
典 礼 海堀次長	<p>委員の皆さま、本日は長時間にわたりありがとうございました。またいろいろな角度から御意見、お知恵をいただきまして、今後の事務の参考にしたいと思っております。</p> <p>なお、行政評価報告書につきましては、本日いただいた評価結果及び意見を基に、事務局でとりまとめ、10月下旬までに皆さまへ確認のため送付させていただきます。</p> <p>その後、修正点を見直しまして、11月8日に村松会長から市長に報告していただく予定となっておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>また、本日決定いただきました行政評価結果につきましては、担当課に評価結果を示し、それに対する今後の事業の対応策について、11月下旬を目途にホームページで公表する予定としております。よろしく申し上げます。</p> <p>以上をもちまして、令和4年度第3回行政評価委員会を終了いたします。</p>

	<p>最後に、礼の交換をさせていただきますので御起立ください。 一同礼 ありがとうございました。</p>
--	----------------------------------------------------------

【閉会】